

第11回 一線美術会 奈良グループ展

関西支部 市川 紘子

- 会 期…令和2年4月12日(日)～16日(木)
- 会 場…ギャラリーGM-1

第11回奈良グループ展を開催いたしました。今年、新型コロナウイルス感染拡大を受け、3月18日(水)～22日(日)は4月12日(日)～16日(木)に延期しました。年に一度のグループ展で、一人一点で準備をされていて、多数預かりをしておりました事もあり、開催を決定しました。

高齢のため、介護のためにと辞められた方もいますが、30名の出品があり、その中で初出品者が4名ありましたので嬉しいことです。

搬入には、コロナウイルス対策で6名の少人数で展示作業をしました。

「三密」を避けるため、会場の出入口は一日中全開し、消毒用アルコール液を置き、当番は一日を三部制にして、ほとんど一人で2時間単位で行い、記帳台は会場の真ん中に置きました。

報道関係(新聞社)で2社が展示会のお知らせを掲載してくれました。

初日の12時ごろ、3社目の奈良新聞社の編集者が取材に来られました。取材は初めてのことでしたので、歴史ある一線美術会のこと、奈良グループ展のことをしっかりとアピールしました。記事は15日(水)に「個々のタッチで力作」と大きく掲載されて、良かったと思います。

近鉄電車で学園前駅徒歩二分の静かなギャラリーですが、さすがにコロナの影響で多くの方々に見ていただけなくて残念でした。一人当番をしながら、力作ばかりの作品を丁寧にゆっくり鑑賞し技法など勉強になりました。初出品の方は楽しく観覧されていて、また、次回につながるいい経験になったと思います。

4月23日(木)奈良県に緊急事態宣言が出されました。一日も早くコロナの終息を祈るばかりです。



第11回 一線美術会・奈良グループ展 (2020. 4. 12(日)～16(木) GM-1